

ツヤハダゴマダラカミキリによる 街路樹(カツラ)の被害を初確認しました 果樹類での被害に注意しましょう

- ・仙台市で伐採された街路樹(カツラ)の枝から令和4年6月30日にツヤハダゴマダラカミキリと疑われる成虫が発見されました。農林水産省横浜植物防疫所に同定を依頼したところ、同年7月7日にツヤハダゴマダラカミキリの雌成虫であることが確認されました。
- ・これまで県内では、ツヤハダゴマダラカミキリによるものと疑われる街路樹の被害や目撃情報はありましたが、本種の捕獲により同定されたのは初めてとなります。
- ・本種幼虫が樹木内に侵入して樹木内部を食害するため、落葉や枝枯れ等の被害がみられ、被害が進行すると枯死に至ります。
- ・これまで国内では、果樹類への被害は確認されていませんが、本種が加害する樹種は幅広く、寄主植物にバラ科リンゴ属、サクラ属、ナシ属が含まれていることから果樹類での被害に注意が必要です。

1 形態

- (1) 成虫の体長は、雄が20～29mm、雌が22～35mmで、体色は光沢のある黒色。鞘翅に約20個の白斑～黄斑を有する(写真1)。
- (2) 在来のゴマダラカミキリに類似するが、前胸背に白紋を持たないことなどにより識別が可能である(写真2、林野庁作成チラシ <https://www.pref.miyagi.jp/documents/40852/rinnyatyoutirasi.pdf>)。

2 生態と被害

- (1) 成虫は5月～10月に出現し、雌は樹皮にすり鉢状のかみ傷をつけ、そこに産卵する。ふ化した幼虫は秋から冬に樹皮下を食害し、樹木内部へと食入する。1年に1世代で、樹木内部で蛹となり、羽化すると直径10～15mmの丸い脱出孔を開けて樹木から脱出する。
- (2) ふ化直後には黒褐色の細かい糸くず状の糞を排出するが、成長に伴い、白く粗い木くず状のフラス(幼虫が食べた木くずと糞の混合物)を排出する。
- (3) 幼虫が樹皮下を食害し、樹木内部に食入するため、幼虫の食害を受けた枝はそこから先が枯れる。被害が著しい場合には、樹木が衰弱し枯死する。

3 防除方法

- (1) これまで国内では、果樹類への被害は確認されていないが、りんごやなし、うめなどの果樹類も寄主植物に含まれることから、被害に注意する。ほ場を見回り、産卵痕(写真3)や脱出孔(写真4)、フラスの有無を確認し、早期発見に努める。
- (2) 主な防除方法
 - ア 果樹類では、栽培している樹種でカミキリムシ類に登録のある農薬(表1)を使用する。
 - イ 被害が激しい場合には被害樹を伐採し、速やかに焼却または破碎処理する。作業時に拡散の可能性を減らすため、作業は11月～4月に行い、成虫が脱出する前に終わらせる。
 - ウ 成虫の脱出期間(5月～10月)に、樹幹に防風・防虫ネット(目合い4mm以下)を地際まで巻き付け、成虫の分散を防止し、脱出した成虫を捕殺する。

※本種についての詳細は以下のHPや資料を参考にしてください。

- ・国立環境研究所「侵入生物データベース ツヤハダゴマダラカミキリ」
<https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/60310.html>
- ・林野庁作成資料「外来種ツヤハダゴマダラカミキリの被害モニタリング等について」
<https://www.pref.miyagi.jp/documents/40852/rinyatyoututi.pdf>



写真1 ツヤハダゴマダラカミキリ成虫(雌)

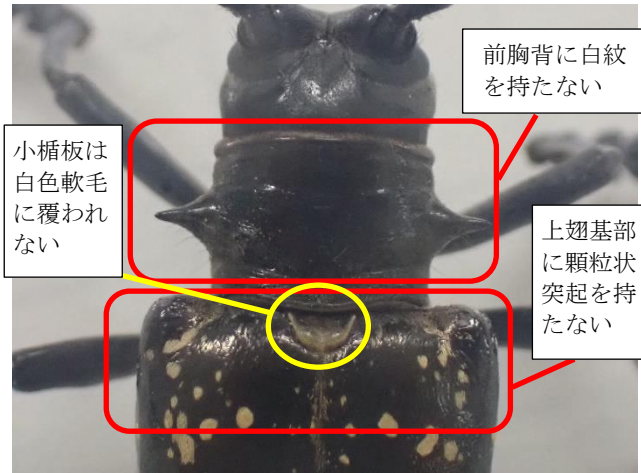


写真2 ツヤハダゴマダラカミキリの特徴



写真3 産卵痕



写真4 脱出孔

表1 カミキリムシ類の薬剤防除に使用できる農薬一覧(りんご, なし, うめ, もも)

作物	商品名	農薬の種類	使用方法	使用時期	使用回数
りんご	ガットキラー乳剤	MEP乳剤	樹幹から地際部へ散布	産卵初期～産卵最盛期(但し、収穫30日前まで)	3回以内
りんご	ガットサイドS	MEP乳剤	主幹地際部から約50cmの高さまで散布	6月～7月(産卵初期～産卵最盛期直前)(但し、収穫30日前まで)	3回以内
りんご	トラサイドA乳剤	マラソン・MEP乳剤	樹幹部に十分散布	産卵初期～産卵最盛期直前(但し、収穫30日前まで)	3回以内
なし				6月～7月(産卵初期～産卵最盛期直前)(但し、収穫21日前まで)	5回以内
果樹類	バイオリサ・カミキリ	ボーベリアブロンニアティ剤	地際に近い主幹の分枝部分等に架ける	成虫発生初期	—
りんご, なし, うめ, もも	ベニカカミキリムシエアゾール ロビンフッド	フェンプロパトリンエアゾール	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	収穫前日まで	5回以内

注) 令和4年7月6日現在の登録内容。実際の農薬散布にあたっては最新情報を確認してください。

- ・果樹類で本種を見つけた場合は、病害虫防除所または農業改良普及センターまでご連絡ください。
- ・成虫を発見した場合は、殺処分し、拡散防止のための措置を行ってください。

《お問い合わせ先》

宮城県病害虫防除所

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL:022-275-8960 FAX:022-276-0429

E-mail: byogai@pref.miyagi.lg.jp



宮城県病害虫防除所 QRコード